

ITコーディネータ(ITC)育成ガイドライン

- フォローアップ研修を中心として -

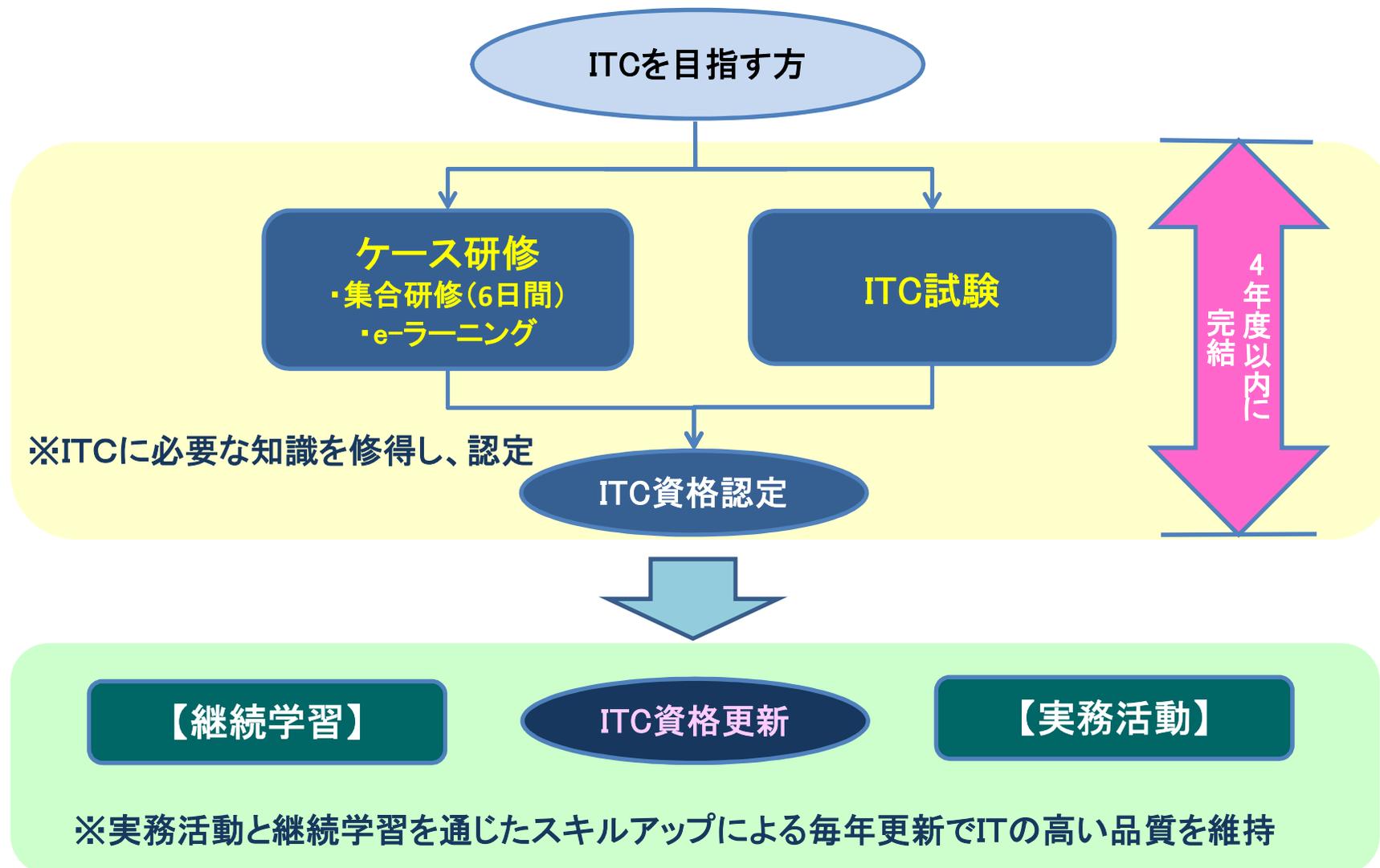
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

2018年6月5日

ITコーディネータはIT経営を実現するプロフェッショナルです

ITコーディネータ資格認定制度

ITコーディネータ(ITC)資格を取得するには、ITC試験の合格、ケース研修修了の両方を、4年度間に完結する必要があります。ケース研修と試験、どちらを先に受けられても結構です。



ITコーディネータ資格育成制度

資格取得後は毎年の資格更新と継続学習、実務活動が義務付けられており、且つ資格取得後3年度間に
フォローアップ研修3講座受講(選択必修)が必須となっております。
 なお資格更新は実践力ポイント制度により一定の条件(1年度間で10ポイント取得)を満たす必要があります。

最新の経営とITに関する
知識を維持

【継続学習】

①継続研修

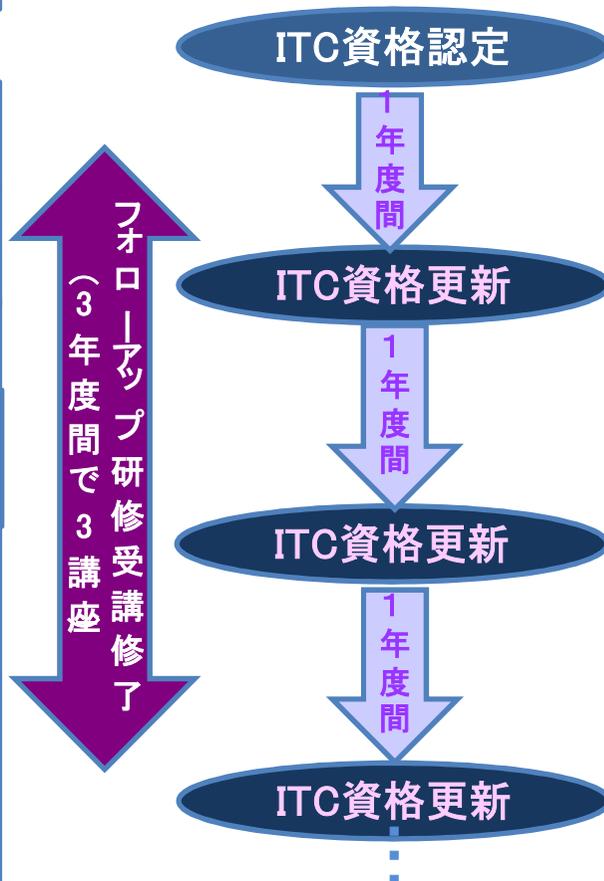
- ・フォローアップ研修
- ・ITCA研修

②個人学習

- ・グループ勉強会
- ・企業内研修
- ・外部機関研修など

③ITC「知のネットワーク」での 知の共有と活用

- ・届出組織での人材育成
- ・委員会
- ・WG
- ・テーマ研究会
- ・ツール開発
- ・学会
- ・他資格団体連携など



実践能力の維持

【実務活動】

①個人、グループでの実践活動

②企業内での実践活動

③ITC「知のネットワーク」での 連携活動

- ・届出組織連携
- ・政府/自治体連携
- ・商工団体連携
- ・金融機関連携
- ・ITC-BIZ
- ・モバイル・クラウド連携など

継続研修カリキュラム全体像

- ・フォローアップ研修は、「3年で自立するITCを育成する」目標に沿って、協会ならではのカリキュラムとなっており、他では学べないIT経営の考え方を踏まえた研修が特徴です。またケース研修では学べなかったより実践的なスキルを身につけることもできます。
- ・ITコーディネータ協会主催ならびに実施機関開催で各地で多くの研修を開催しています。

フォローアップ研修

a. ITCコアスキル研修コース
※e-ラーニング講座

+

b. 中小企業ビジネス支援研修コース

c. IT経営プロセス実務研修コース

d. 共通コース

実施機関開催研修コース

ITCA研修

(A) ビジネス研修 稼げる力を身に付けるための「ワークショップ型」

- ①公的ビジネス、民間ビジネス、OJTの実践的「ビジネス研修」
 - ②セキュリティ、販路拡大、AI、補助金等の「使える知識研修」
 - ③ITベンダー向け、土業向け、金融機関職員向け等の「対象別研修」
- 3カテゴリの研修

(B) 集合セミナー 知識、スキル向上のための「集合セミナー型」

- ・セミナーで概要を講演し、さらに知識・実践力を進めたい方は、A研修で稼げる力を身に付けていただく
- ・セミナーのライブストリーミング(同時配信)を実施し、全国の方に受講して頂けるようになった
- ・ITC制度を応援していただいている法人会員、個人会員、理事、スポンサー企業、各支援機関、ユーザーが一体となって開催していく

(C) 既存・eラーニング 場所時間に捉われず気軽に学べる「eラーニング型」

- ・ITトレンド、中小企業向けのITツールについて、これまで同様、できるだけ安価な動画情報としてお届け
- ・内容的にはITC以外の方にも有用、ITCの販促ツールとしても利用可能
- ・Web Conference

IT経営・イノベーション研修 IT経営体感ケース研修やイノベーション研修などITC協会のガイドラインに沿った研修です。

その他 上記のカテゴリには入らない独自の研修プログラムです。

フォローアップ研修の概要と構成

フォローアップ研修_概要

2012年度より、ITC資格認定後、実践力強化のために協会主催の必修の**フォローアップ研修**が用意され、自分の目標に合ったコースを選択できます。

受講内訳

- a. コアスキル研修コース (e-ラーニング) ⇒ 集合研修の順で、e-ラーニング + 集合研修を計3講座ご受講いただく必要があります。
※ 集合研修は2講座以上の受講が必須となっております。(2017年度以前に認定の方は、集合研修1講座以上の受講が必須)

受講期限

資格取得年度の翌々年度末までの間(最長3年間)に、3講座の受講が必須です。

実践力ポイント

フォローアップ研修は2時間1ポイント換算となり、資格更新制度におけるポイント制度の対象です。

受講料

受講料は有償で、ITCA会員・非会員による受講料の違いはありません。

フォローアップ研修_構成

※e-ラーニング

a. ITCコアスキル研修コース … 3講座、各5,400円

・ITC実務ガイド(中小企業支援者向け)を学ぶコース、プロジェクトマネジメント(全ITC向け)コース、IoTとAIを学ぶコース(全ITC向け)

※集合研修

b. 中小企業ビジネス支援 研修コース

… 4講座、各32,400円

・IT経営を実践する企業の支援事例を学ぶことで、中小企業ビジネスの支援者としての実践力を強化するコース

c. IT経営プロセス実務 研修コース

… 6講座、各32,400円

・IT経営プロセスでの実務を深掘り、強化し、企業内ITCの実務能力に付加価値をつけるコース

d. 共通コース

… 9講座、各32,400円

・ITC活動を行う上で、必要なコンサルツール類の活用法を学びます。また、企業人・コンサルタントとして共通なテーマを学ぶコース

研修実施機関開催 研修コース

… 各32,400円

・ケース研修実施機関独自のコース

a. ITCコアスキル研修コース(e-ラーニング)

講座名	概要	時間	eL
a3. 「ITC中小企業支援実務」 ～「ITコーディネータ実務ガイド2.0」を ベースに、実務活動を学ぶ～	ITC実務ガイドをベースに、営業方法を含め、PGLで学んだことをビジネス でどう適用するかについて学びます。また、ITC取り巻く環境変化やビジネ スモデルキャンバス(BMC)やバランスドスコアカード(BSC)など、各種フ レームワークの活用方法も学びます。 (中小企業支援者向け)	5時間	○
a4. 「組織戦略実現のために ITCが実施すべきこと」 ～ITCのための プロジェクトマネジメント～	ITCの必須知識 新商品・サービス企画、ビジネス分析、戦略立案、実施 までを最新のPPPM思考で勘所が身につきます。 (全ITC向け)	4時間	○
a5. 「ITCのためのIoT+ AI基礎講座」 ～IoTとAIで稼げるITCになるための 知識を学ぶ4時間～	第4次産業革命の概論、IoTとAIに関する技術的解説、導入に関する実践 的知識をバランス良く配置しており、4時間でざっくり理解することができます。 どのようなバックグラウンドを持つITCの方が受講されても、多くの示 唆を得られる内容です。 (全ITC向け)	4時間	○

eLの○は、eラーニング対象講座を示す

b. 中小企業ビジネス支援研修コース

講座名	概要	時間	eL
<p>b1.「事例でわかる！IT利活用プロセスにおけるITコーディネータ活動」 ～製造業の事例を使いRFP策定、評価指標、SLA作成法まで具体的に学べます～ (業務改革事例)</p>	<p>ケース研修では気づかない講師が実際に行った製造業の事例を使いIT利活用フェーズの全プロセスが重要ポイントを学べます。ロールプレイングも盛り込みITコーディネータ活動の勘所を分かりやすくしかも実務的に学べます。 (製造業事例)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
<p>b2.「IT経営プロセスとITCの役割を実感」 ～中小企業100社の支援経験をもつ講師といっしょに中小企業ワールドを疑似体験～ (従業員一体化事例)</p>	<p>事例企業以外の講師の支援実績も紹介しながら、独立ITコーディネータの"イキザマ"をお伝えします。 生々しい現場情報が満載です。 (卸売業事例)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
<p>b4.「セカンドキャリア『中小企業のIT顧問』への道」 ～専用ボードゲームでITC実務を学ぼう！～ (クラウド事例)</p>	<p>あなたは何歳まで、働きたいですか？ 「セカンドキャリア」で中小企業のIT顧問を目指す方向けのボードゲームをご用意いたしました。仲間といっしょに課題をクリアしていきましょう！ (サービス業事例)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
<p>b5.「新規就農したITCが伝える、 農業ITの丸ごと全部」 ～他産業にも通じるIT利活用の 基本原則と等身大の事例～ (ビジネスモデル改革事例)</p>	<p>地域の基幹産業である農業と、それを支える農業IT、そして、ITCが貢献できる役割を概観して理解できる1日コースです。 (農業ビジネス事例)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—

フォローアップ研修カリキュラム(3/5)

c. IT経営プロセス実務研修コース

講座名	概要	時間	eL
c1.「経営者が理解できるIT投資マネジメント」 ～最新のBSCの理解とIT投資マネジメントへの適用～	IT投資マネジメントについての最新の理論的なフレームワークが理解できるだけでなく、BSCの最新の考え方もマスターできます。ケース企業を題材に、ワークショップ形式でその適用事例を学習します。経営者視点で投資評価を体験できることが最大のポイントです。 (経営戦略、IT戦略策定フェーズ)	1日 (6時間)	—
c2.「戦略を反映した「攻めのIT」の実現」 ～人的販売、設計業務、 顧客サービスなどへのIT活用により～	初年度の投資だけで、同一人員でETO品の売上を8倍まで伸ばさせた事例によって、「攻めのIT」へのアプローチとその継続的効果、この第二次としてユーザ自身で実現した事例を紹介する。 (経営戦略～IT導入フェーズ)	1日 (6時間)	—
c3.「業務の見える化からシステム要件定義へ」 ～IT経営のための要件定義とRFP作成～	現場からの業務要求と、システム化に必要な要件の引き出し方と纏め方を学びます。それを使ってRFP作成の演習も行います。 (IT戦略策定～IT資源調達)	1日 (6時間)	—
c4.「IoT時代に成果を出すための組織戦略策定と実践の勘所(PDUも取れる)」 ～PPPM(ポートフォリオ、プログラム、プロジェクトマネジメント)を押さえて～	ITCの必須知識(新商品・サービス企画、ビジネス分析、戦略立案、実施)を押さえた上で、より高みに立てる付加価値・応用力を身につける。講義実施にあたっては、組織戦略策定と実践の勘所の重点ポイントを毎回更新して推める。 (プロジェクトマネジメント)	1日 (6時間)	—
c5.「経営から評価されるITサービスマネジメント」 ～経営視点からITサービスを考える～	経営者が評価するITサービスとはどういうものなのか？ ITサービスマネジメントの理論と具体的な事例を基にした実践の勘所をご紹介いたします。 (ITサービスマネジメント)	1日 (6時間)	—
c6.「提案営業のための「戦略的IT経営」実践術」 ～新規ビジネスの本質をとらえる 「ビジネスモデルキャンバス」的提案術～	中小企業IT経営力大賞の受賞企業の事例を用いて、新規ビジネスにおける要求の把握から問題抽出・分析、課題解決立案へとつながる「ささる提案書」のコツを解説します。 (IT経営認識プロセス)	1日 (6時間)	—

d. 共通コース

講座名	概要	時間	eL
d1.「ビジネス競争力自己診断ツール」 ～「ビジネス競争力強化支援ツール」自己診断機能～	本ツールは主としてITCプロセスのIT経営認識プロセスで使用されますが、ドアノックツールとして使えますのでITCビジネスの獲得に大きな最大限の効果を発揮します。	1日 (6時間)	—
d2.「リアルタイムBS”で学ぶ「経営者の目線に立つための会計基礎」	決算書を読まずに、経営支援ができますか？ カラーマグネットを動かしながら学びます。会計初心者も歓迎！	1日 (6時間)	—
d3.「ビジネスモデルキャンパス(BMC)実践編」 ～既存企業のBMC事例から発想する提案術～	一日でBMCが書けるようになり、実際の仕事の場面に応用できます。著名なビジネスモデルを可視化し、成功の秘訣を考察します。	1日 (6時間)	—
d4.「ビジネス競争力課題解決ツール」 ～「ビジネス競争力強化支援ツール」課題解決機能～	IT経営実現領域の経営戦略・業務改革・IT戦略の各プロセスで、ITCが具体的に支援するための手順やテンプレートを体系化したツールです。	1日 (6時間)	—
d5.「数年後の流通業で生きるITとは 現状分析⇒最新IT活用へ:AI・IoT・ビッグデータ・ロボット・EC」	流通業の未来を構築するために必要な業務知識の基礎と、最新ITの活用方法及び効果を伴って学びましょう。	1日 (6時間)	—
d6.「ITコーディネータのための ファシリテーション基礎スキル」 ～効率的に会議の目的を達成するために～	ファシリテーションは会議を効果的におこなう「技術」です。理論の解説と演習を組み合わせ、ファシリテーションの基礎スキルを体得していただきます。付録の「会議進行のひな形」を参照することで、すぐに実践にとりかかることができます。	1日 (6時間)	—

フォローアップ研修カリキュラム(5/5)

d. 共通コース

講座名	概要	時間	eL
d7. 「IoT、AI時代における業務分析手法の習得」 ～GUTSY-4の業務参照モデルを活用した 業務分析演習～	業務参照モデルを活用した分析手法を学ぶ事で、業務知識・スキルが乏しくても業務分析が可能となります。	1日 (6時間)	—
d8. 「ITコーディネータのための「ファシリテーション」 の指導スキル」 ～ファシリテーション勉強会を運営するために～	ファシリテーションを指導するスキルを体得していただきます。 特典として、ファシリテーション基礎スキルの教材をpptファイル形式で提供します。自主勉強会や外部向けの研修教材として、自由に活用ください。	1日 (6時間)	—
d9. 「ささる指標(KGI/KPI)の創り方」 ～4つの知識変換モード(SECIモデル)から解き明かす 成果の上がるマネジメント法～	SECIモデルを使って目標達成のメカニズムを解明し、“ささる指標”の創り方とマネジメントの秘訣を学びます。	1日 (6時間)	—